

令和5年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト  
(幼児期からの運動遊び普及事業)

事業成果報告書

令和6年2月28日

岐阜県

令和5年度 幼児期からの運動習慣形成プロジェクト  
(幼児期からの運動遊び普及事業)

事業成果報告書

目次

1. 事業の趣旨・目的 p.3
2. 事業の実施体制 p.4
3. 事業の内容 p.5
  - (1) 保護者等を対象とした子供の運動遊びの重要性に関する普及・啓発
  - (2) 幼児を対象とした「運動遊び」の提供
  - (3) 事業の評価・効果検証
  - (4) 情報交換会への出席及び事業成果の報告
  - (5) 委託事業終了後に取組を継続する又は発展させるための方策
4. 事業成果 p.9
  - (1) 評価指標および目標
  - (2) 結果と考察
5. 今後の課題 p.13
6. 今後の取組予定 ～次年度に向けて～ p.13

## 1. 事業の趣旨・目的

「 スポーツ運動好きな幼児育成プログラム展開事業～つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト～」

岐阜県では、昨年度（令和4年度）より3年計画で、県内5市（各圏域1市）の幼稚園・保育所等の中から2～3園ずつ、計14園を推進園として指定し、県内5大学及び、（公財）岐阜県スポーツ協会、各市教育委員会、保育課等と連携しながら、対象児（R4年少）にアクティブチャイルドプログラム（ACP）を活用した運動遊びを実践している。

1年目となる昨年度は、推進園に対して運動遊びの重要性を伝える研修会を実施するとともに、園の先生が日常的にアクティブチャイルドプログラム（ACP）を活用した運動遊びを実践できるように、大学教員が各推進園に実技指導を行った。

事業期間を通して、園の先生に取り組んでもらい、効果検証（運動能力測定）を実施した。取組期間は、実質3か月という短い期間であったが、対象児の体力は事業実施前に比べて、発育による自然成長を除いても大幅に向上した。そして、検証結果や取組内容を記録した動画やリーフレットを作成し、推進園の保護者や県内全域の幼稚園・保育所等に周知した。

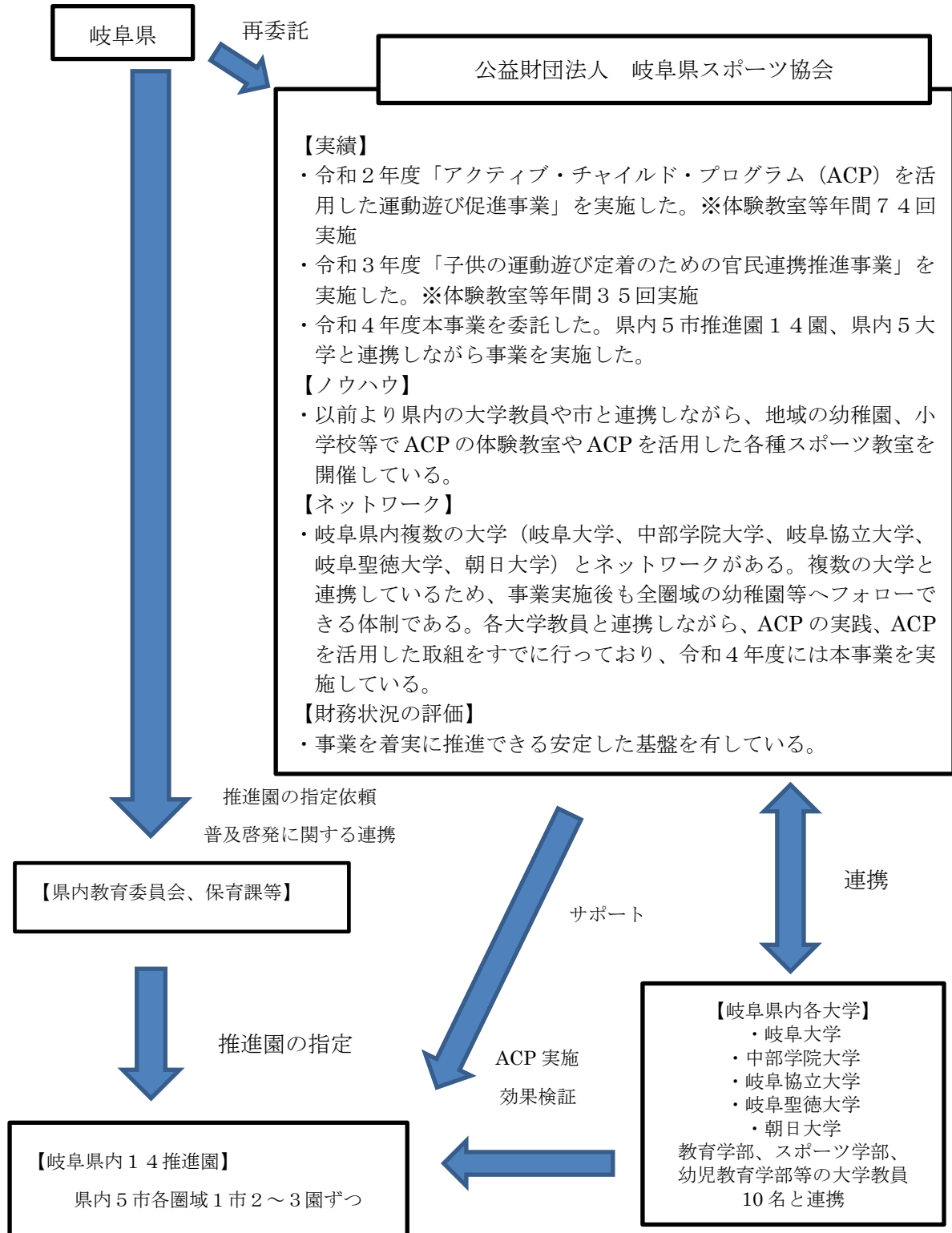
2年目となる今年度は、同じ推進園、対象児（R5年中）を対象とするが、取組の定着を図るため、大学教員による実技指導に加え、園の先生が実践する様子を大学教員が参観して助言する巡回指導を実施する。

また、保護者が運動遊びの重要性について学ぶ講習会を新たに実施し、社会性、非認知能力の向上、強い心の育成や基本的な生活習慣の定着に必要な知識等のフィジカルリテラシーの向上をねらう。

さらに、各市教育委員会、保育課等と連携しながら2年目の効果検証結果を踏まえた普及動画、リーフレットを周知するとともに、各圏域の推進園で公開授業を実施し、近隣の幼稚園、保育園等の先生に参観してもらう機会を設定して、普及効果を高める。

## 2. 事業の実施体制

以下のとおり、県、県スポーツ協会、県内大学、市町村教育委員会、保育課等と連携した実施体制を構築し、事業を展開する。



### 3. 事業の内容

#### 事業内容

##### 事業全体の実施概要

##### (1) 保護者等を対象とした子供の運動遊びの重要性に関する普及・啓発

- ① 大学教員が各推進園の先生を対象に、実施内容及び運動遊び（ACP）の重要性について講話。オンラインにて、県内推進園14園の先生を対象に実施。

【日付】令和5年6月2日

【内容】

- ・事業目的、趣旨の説明
- ・事業の概要と主な内容
- ・指導スタッフ紹介
- ・運動遊びをとおして育むことができる力について
- ・保護者の皆さんに共通認識していただきたいこと
- ・昨年（令和4年度）1年目の効果検証結果について

- ② 各推進園対象児保護者に対して、社会性、非認知能力の向上、強い心の育成や基本的な生活習慣の定着に必要な知識等のフィジカルリテラシーの向上、運動遊びの普及を目的とした講習会を実施。ビデオオンデマンド方式にて、いつでも視聴できるように各推進園から配信。

※昨年からの継続事業として実施しているため、年度初めの早い段階で実施する必要があることから契約期間外であったが、実施。

##### (2) 幼児を対象とした「運動遊び」の提供

【大学教授から推進園への指導】

- ・大学教員が各推進園の先生を対象に実技指導を2回実施。
- ・大学教員が各推進園に出向き、園の先生の実践内容を参観し、助言する巡回指導を3回実施。



※大学教員が各推進園の対象児に運動遊びを実施。園の先生は、授業と一緒に参加することで研修した。



※園の先生が運動遊びを実施している様子を大学教員が参観。参観後は、より楽しく取り組める方法のアドバイスや、園の先生方の悩み相談を実施。

【岐阜地区：山県市】

A園	令和5年10月31日	実技指導①
	令和5年12月13日	実技指導②
	令和5年11月22日	巡回指導①
	令和5年11月30日	巡回指導②
	令和6年1月11日	巡回指導③
B園	令和5年11月1日	実技指導①
	令和5年12月12日	実技指導②
	令和5年12月12日	巡回指導①
	令和5年12月21日	巡回指導②
	令和6年1月18日	巡回指導③
C園	令和5年11月7日	実技指導①
	令和6年1月10日	実技指導②
	令和5年11月17日	巡回指導①
	令和5年12月19日	巡回指導②
	令和6年1月23日	巡回指導③

【西濃地区：大垣市】

D園	令和5年11月14日	実技指導①
	令和5年12月19日	実技指導②
	令和5年11月14日	巡回指導①
	令和5年12月19日	巡回指導②
	令和6年1月29日	巡回指導③
E園	令和5年11月15日	実技指導①
	令和5年12月18日	実技指導②
	令和5年11月15日	巡回指導①
	令和5年12月18日	巡回指導②
	令和6年1月17日	巡回指導③
F園	令和5年11月13日	実技指導①
	令和5年12月21日	実技指導②
	令和5年11月13日	巡回指導①
	令和5年12月21日	巡回指導②
	令和6年1月24日	巡回指導③

【中濃地区：郡上市】

G園	令和5年11月27日	実技指導①
	令和5年12月18日	実技指導②
	令和5年11月27日	巡回指導①
	令和5年12月18日	巡回指導②
	令和6年 1月22日	巡回指導③
H園	令和5年11月20日	実技指導①
	令和5年12月11日	実技指導②
	令和5年11月20日	巡回指導①
	令和5年12月11日	巡回指導②
	令和6年 1月15日	巡回指導③

【東濃地区：土岐市】

I園	令和5年12月 5日	実技指導①
	令和5年12月22日	実技指導②
	令和5年12月 5日	巡回指導①
	令和5年12月22日	巡回指導②
	令和6年 1月15日	巡回指導③
J園	令和5年12月 6日	実技指導①
	令和5年12月21日	実技指導②
	令和5年12月 6日	巡回指導①
	令和5年12月21日	巡回指導②
	令和6年 1月15日	巡回指導③
K園	令和5年11月29日	実技指導①
	令和5年12月15日	実技指導②
	令和5年11月29日	巡回指導①
	令和5年12月15日	巡回指導②
	令和6年 1月26日	巡回指導③

【飛騨地区：高山市】

L園	令和5年11月24日	実技指導①
	令和5年12月 8日	実技指導②
	令和5年11月24日	巡回指導①
	令和5年12月 1日	巡回指導②
	令和6年 1月19日	巡回指導③
M園	令和5年11月10日	実技指導①
	令和5年11月24日	実技指導②
	令和5年11月10日	巡回指導①
	令和5年12月15日	巡回指導②
	令和6年 1月19日	巡回指導③
N園	令和5年11月16日	実技指導①
	令和5年12月 1日	実技指導②
	令和5年11月16日	巡回指導①
	令和5年12月15日	巡回指導②
	令和6年 1月25日	巡回指導③

【推進園での具体的な取組】

- ・園の先生が対象児に対してアクティブチャイルドプログラム（ACP）に基づく運動遊びの時間を日常的に確保（身近にあるものを活用した遊び道具で運動を実施）。



- ※新聞紙を丸めて作ったボールを投げる「ボールの的あて」等
- ・園の先生が3分弱のリズムダンス（足が速くなる魔法のダンス）を週2～5回実施。



(3) 事業の評価・効果検証

- ① 県、県スポーツ協会、県内大学の3者で効果的な事業実施に向けた打合せ、体制の確認、効果検証、普及推進を図るための検討会を2回開催。
  - 【日時】令和5年10月18日、令和6年2月13日
  - 【場所】岐阜大学：保健体育棟
  - 【内容】取組計画の確認、効果検証結果からの事業の評価、普及方法の検討、次年度の取組について等
- ② 効果検証のための運動能力測定（基本3種目：立ち幅跳び、25m走、ボール投げ）を実施。



立ち幅跳びの測定



25m走の測定





ボール投げの測定

A園	令和6年1月15日
B園	令和6年1月15日
C園	令和6年1月15日
D園	令和6年1月17日
E園	令和6年1月22日
F園	令和6年1月22日
G園	令和6年1月26日
H園	令和6年1月26日
I園	令和6年1月26日
J園	令和6年1月26日
K園	令和6年1月26日
L園	令和6年1月29日
M園	令和6年1月30日
N園	令和6年1月31日

- ③ 運動観察を行い、日々の取組内容・時間をオンラインで入力フォームに記録し、運動能力との関連性を検証。
- ④ オンラインの入力フォームにて、対象児の保護者にアンケート調査を実施し、事業実施前後の運動遊びに関する意識・行動変容に関する効果を検証。

#### (4) 情報交換会への出席及び事業成果の報告

##### ① 情報交換会

順天堂大学及び順天堂大学が設置する事業推進委員会が開催する情報交換会に出席し、その時点における実施計画や中間報告等を実施。

##### ② 「全国シンポジウム」における成果発表。

順天堂大学が開催する「全国シンポジウム」に事業を担当する県職員が、大学教員、県スポーツ協会職員と出席し、取組の概要や連携体制、効果検証を行った結果について成果発表。

#### (5) 委託事業終了後に取組を継続する又は発展させるための方策

- ① 近隣の園指導者を対象とした公開授業を実施。
- ② 推進園での取組（実技指導、実践事例）を動画コンテンツとして配信したり、岐阜県の広報ツール（YouTubeチャンネル）を活用したりするなど、広く周知。
- ③ 運動能力測定結果（エビデンス）に基づき、推進園の保護者、県内全域の幼稚園、保育園等向けに運動遊びの普及啓発リーフレットを作成し、各市町村スポーツ、教育、保育担当部署との連携を図りながら配布する。

## 4. 事業の成果

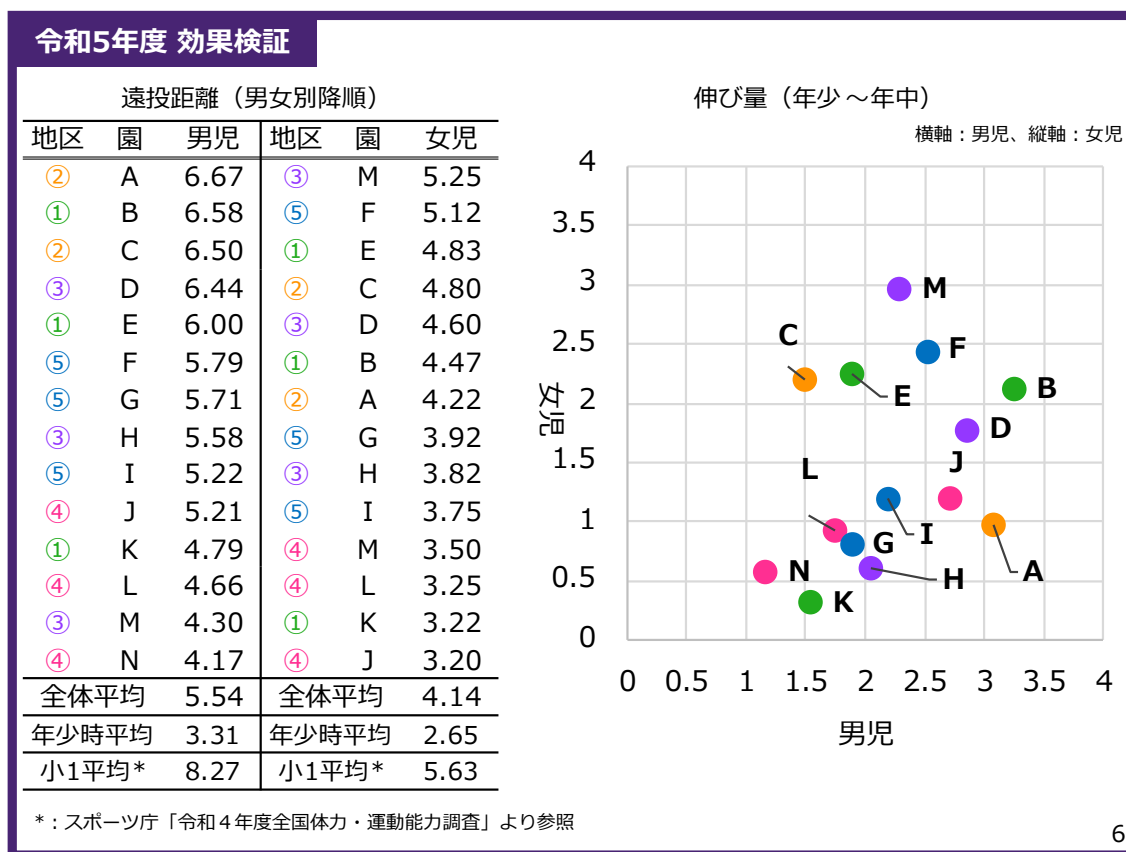
### (1) 評価指標および目標

- ① 運動能力測定（基本3種目：立ち幅跳び、25m走、ボール投げ）の実施。  
令和6年度（3年目時点）における運動能力測定の平均値が、小学1年生の全国平均値以上となることを目指す。
- ② 保護者への事業実施前後の運動遊びに関する意識・行動変容に関する調査

項目	目標値
ア 「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えていた保護者のうち、「子供が以前より活発に体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合	50% ※分母: 事業参加前に「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えていた保護者の数
イ 「子供の不活動時間（スクリーンタイム等）が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合	60% ※分母: 事業に参加した保護者又は参加した子供の保護者の数
ウ 「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった（又は既に意識している）」と回答する割合	60% ※分母: 事業に参加した保護者の数
エ 「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合	30% ※分母: 事業に参加した保護者の数
オ 保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった（又はフィジカルリテラシーが高まった）」と回答する割合	60% ※分母: 事業に参加した保護者の数

## (2) 結果と考察

### ①運動能力測定結果



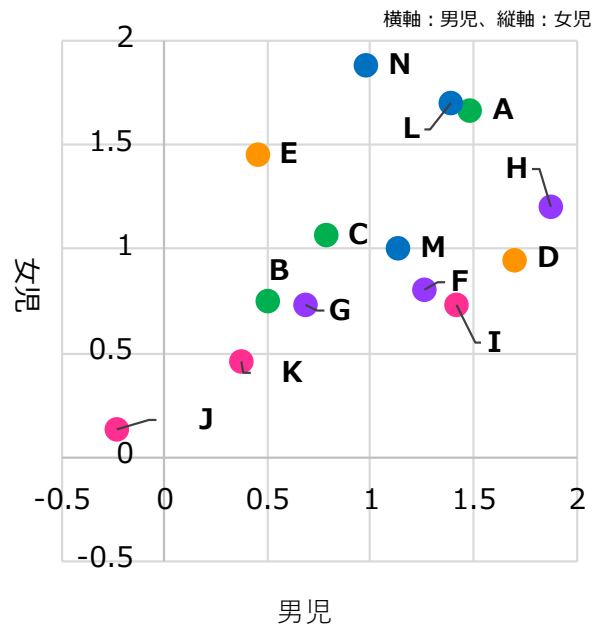
### 令和5年度 効果検証

25m走タイム (sec) 男女別降順

地区	園	男児	地区	園	女児
②	D	5.25	②	D	5.94
③	F	6.24	③	F	6.50
②	E	6.30	⑤	M	6.62
⑤	M	6.43	⑤	N	6.67
⑤	N	6.54	③	H	6.81
①	B	6.77	⑤	L	6.82
⑤	L	6.80	①	A	6.92
④	J	6.80	③	G	6.96
①	C	6.93	①	C	7.01
③	H	6.94	④	I	7.11
①	A	7.01	②	E	7.12
④	K	7.20	①	B	7.42
③	G	7.24	④	K	7.79
④	I	7.42	④	J	8.42
全体平均		6.70	全体平均		7.01
年少時平均		7.81	年少時平均		8.01
小1平均*		5.73	小1平均*		5.89

\* : スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力調査」より参照  
小1平均は50m走のタイムを25m換算した数値を示している (小1平均/50\*25)

伸び量 (年少～年中)



1

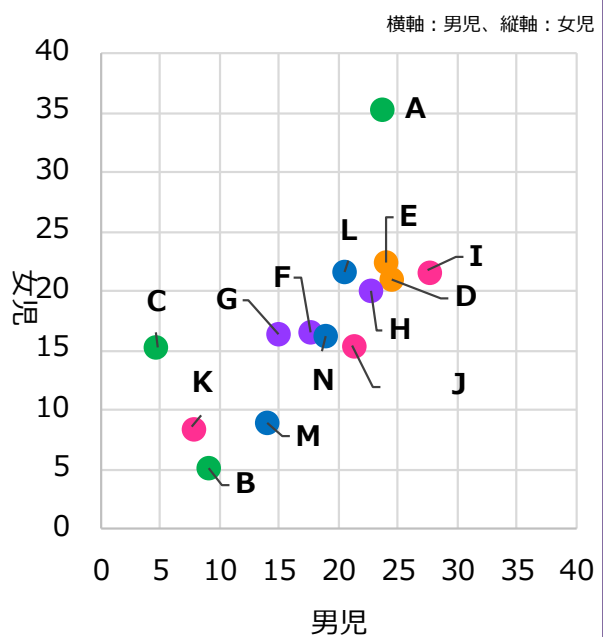
### 令和5年度 効果検証

立ち幅跳び (cm) 男女別降順

地区	園	男児	地区	園	女児
②	E	111.50	②	D	114.22
②	D	111.33	⑤	L	101.59
⑤	N	105.08	①	C	100.06
⑤	L	103.17	①	A	99.67
③	F	100.00	⑤	M	93.83
①	A	99.75	③	F	91.27
①	C	99.58	③	G	89.88
①	B	97.75	④	I	89.29
④	J	95.14	⑤	M	86.65
⑤	M	94.47	③	H	86.630
③	G	93.17	①	B	86.00
④	I	89.33	②	E	84.40
④	K	86.84	④	K	80.89
③	H	80.30	④	J	70.20
全体平均		97.67	全体平均		91.04
年少時平均		80.50	年少時平均		75.38
小1平均*		116.98	小1平均*		108.42

\* : スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力調査」より参照

伸び量 (年少～年中)



2

## ② 運動能力測定結果からの考察

昨年度(年少時)と比べて走・跳・投の基礎運動能力が向上していることが確認できる。

走・跳の動作については、昨年度から継続して「足が速くなる魔法のダンス」を習慣的に実施するとともに、鬼遊びを中心とした様々な運動遊びによる身体活動の推進が走タイムの短縮に関係していると考えられる。

なお、J園の25m走の伸び量に関しては、対象となる推進園における転入・転出や測定日の欠席等によるものであり悪化しているわけではない。

投動作については、今年度重点的に取り組んだ。具体的には、ボール投げの機会確保およびボールを用いた運動遊びの実施である。大学教員による実技指導および巡回指導において望ましい投動作について保育士に対して指導・助言を行い、「ステップ脚（投げ腕と反対側）が前に出る」ことを日々の運動遊びの中で定着を図った。園によって伸び量は異なるものの、一定の成果がみられた。また、今年度ボール運動遊びに親しんだことにより望ましい投動作を身に付けた幼児が多く確認された。

測定値には表れないが、幼児自身がボール投げに対する自信を深め、有能感を感じており、幼児が主体的・積極的にボールを用いた運動遊び（ボール投げ）に取り組むようになったと複数の推進園の先生から情報共有があるなど、幼児自身が運動の楽しさを享受するとともに、多様な運動経験を通して基礎的な動きを身につけることに繋がっていると考えられる。

## ③ 保護者への事業実施前後の運動遊びに関する意識・行動変容に関する調査結果

項目	結果
ア 「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えていた保護者のうち、「子供が以前より活発に体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合	43% ※分母:事業参加前に「子供が活発に体を動かして遊ぶ機会が少ない」と答えていた保護者の数
イ 「子供の不活動時間（スクリーンタイム等）が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合	24.6% ※分母:事業に参加した保護者又は参加した子供の保護者の数
ウ 「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった（又は既に意識している）」と回答する割合	56.9% ※分母:事業に参加した保護者の数
エ 「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合	23.4% ※分母:事業に参加した保護者の数

オ	保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった（又はフィジカルリテラシーが高まった）」と回答する割合	14.4% ※分母: 事業に参加した保護者の数
---	---	----------------------------

④ 保護者への事業実施前後の運動遊びに関する意識・行動変容に関する調査結果からの考察

アの項目については、目標値には届かなかったが、事業実施後に子供が以前よりも活発に体を動かして遊ぶようになったと回答する数値が4割を超えた。

推進園での日常的な取組が運動能力測定の記録向上とともに、子供の生活の様子にも影響を与えたのではないかと考える。

また、ウの項目については、すでに意識していると回答した保護者も含めて、目標値に近い数値となった。睡眠、食事などの生活習慣については、多くの保護者が意識していることがわかる。

イ、エ、オの項目については、向上は認められたが、低い数値にとどまっている。保護者自身が不活動時間（スクリーンタイム等）の減少を意識することや、フィジカルリテラシーの大切さを意識し、行動変容することの重要性をより強く発信する機会を提供したり、定期的に情報発信をしたりするツールが必要である。

5. 今後の課題

2年目となった今年度の効果検証結果からも子供の体力は向上しており、活発に体を動かす子供が増えていることも確認できているが、県内5圏域14園の取り組みにはそれぞれの特色があり、園によって運動能力のバラつきもみられる。全体のボトムアップを図るために効果をあげている園の取り組みを共有することにより、よりよい実践に繋がるようサポートしていく必要がある。

しかしながら、記録の向上に繋がらずとも、いずれの園においても正しい投げ方の習得（動きの質の向上）がみられている。来年度、対象児が年長になったときには、めざしている「小学校1年生の全国平均」に迫るあるいは、超える可能性が十分にあり、介入による効果は大きいものであると考えられる。

また、保護者の「フィジカルリテラシー」「子育てリテラシー」、保育者の「保育リテラシー」を高めるための情報発信の機会をたくさん設ける必要がある。今年度実施した保育者向け研修会、保護者向け講習会、普及動画、普及リーフレットの作成以外にも様々な普及媒体、情報発信の方法を使って、意識・行動変容を促していきたい。

6. 今後の取組予定 ～次年度に向けて～

次年度は、3年計画の最終年となる。各推進園でさらなる効果をあげるために、推進園での取組の定着と、保育者のスキルアップを図る。

また、保護者の「子育てリテラシー」、保育者の「保育リテラシー」を高めるために大学教員が子育て情報誌「つよいぞ！ぎふっ子通信」を作成し、定期的に配付する

ことで保護者、保育者の意識・行動変容を促進する。そして、県内すべての推進園（5圏域）で公開授業を行うことで、県内の推進園以外の園にも取り組むきっかけを与える。

さらに、3年間の取組のまとめとなるアクティブチャイルドプログラム（ACP）を活用した運動遊びの普及動画と普及リーフレットを作成し、すべての保育者が読んだり、視聴したりすることですぐ実践できるような資料の作成をめざす。

県内全体にアクティブチャイルドプログラム（ACP）を活用した運動遊びを広め、岐阜県内の子供の体力の底上げ、生涯にわたってスポーツ運動に親しむ資質や能力の形成を図る。